

銅くず

輸出向銅くず、買値は上げ戻しに 先高を見越すも、価格が一人歩きとの懸念も

関西の輸出向け銅スクラップ市況は、買値は一時の下げから上げ戻しとなった。

足元の輸出業者の買値は、込黄銅は36万～36万5,000円どころが中心、雑線(43%程度)は22万円どころが頭となっている。

このような上げ戻しの背景には、先高を見越した輸出業者の思惑による値上げと見られているが、利下げなど中国経済状況は良

くないこともあり、実際のところ、市中の荷動きは静かで、「価格の一人歩き状態」(ある商社筋)との懸念の声も出ている。

なお、前記の価格に関して、高値を得ようとするれば鉄やプラスチックなどの不純物をしつかり取り除いたり、荷姿を整えておく必要がある。

貴金属

東工取、2012年6月の取引概況を発表

東京工業品取引所は2012年6月の取引概況を発表した。

それによると、1日の平均取引高は金が前月比12.1%減の4万2,588枚、金ミニが前月比13.3%減の1万2,329枚など全体では前月比7.2%減の9万6,725枚となった。

欧州債務問題や世界的な景気減速に対

する不安が払拭されず、マーケットではリスク回避ムードが広がる中で積極的な取引が控えられた為、相場が落ち着いた値動きとなったことが取引高減少の一因と見られる。

なお、2012年6月末時点の全商品合計取引高は32万7,039枚となり、先月末時点より1万3,580枚の減少となった。

6月の銅スクラップレポート及び7月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジはLMEセツル7000
-7900ドル、建値600-670円

■概況:前半は欧州懸念への対策として欧州財務相会談でスペインに対して最大1000億ユーロの貸し出しを決定するなどのプラス材料があったが米雇用統計の非農業雇用者指数が予測の15万人から6.9万人と大きく減少したことや米ムーディーズがスペイン債の格下げを行うなどにファンダメンタルズの悪化を嫌気し下落7376ドル(セツル)と約140ドル下落しての前半締めとなった。

後半ギリシャ再選挙で再建派が勝利したものの、EU会合に向けて独メルケル首相がECB共同債発行へ改めて否定をしたこと。FOMCで12年の米GDP予測-0.5%引き下げられたこと。独ZEW指数が-6.9%と予測の+2.3%を大きく下回ったことから200ドル程度下げる場面はあったが、欧州会合で欧州安定メカニズム(ESM)から枠内の銀行へ直接資本注入できる仕組みに合意したとの報を好感し急騰7月2日現在前半から80ドル

上昇。7605ドル、建値66万円のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比-2.3%の78万1349台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+34.2%の31万7152台(前年比+40.9%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+0.8%(昨年比+9.3%)の6万9638戸であった。

また貿易関連指標では、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が-6.3%4万3866t、スクラップが-28.2%の2万3007tとなった。輸入は電気銅が前月比-45.2%の2721t、スクラップは+11.5%の7860tとなった。

■前月の国内指標:日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比-3.7%の6万5320t(昨年対比-10.2%)。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)では前月比-6.1%の5万2600t(昨年対比+5.9%)であった。

■見通し:先月は自動車関連は絶好調、住宅関連も底入れが感じられ7月2日現在欧州懸念も欧州金融安定メカニズム(ESM)から民間への直接投資が合意され、一旦は安定した。

自動車生産は前年比+60%の78万1340台と10カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。また国内自動車販売台数も31万7152台と前年比+40.9%と急上昇。自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比-3.7%の6万5320tの昨年対比(-10.2%)とまたまた前年割れ。銅電線出荷量は、前月比-6.1%の5万2600t、昨年対比+5.9%と4カ月連続回復へ。今回も自動車向けに助けられ形に。新設住宅着工数は季節調整前月比+0.8%の6万9638戸、前年比は+9.3%と大幅回復した。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比-6.3%の4万3866tと2カ月連続の減少。銅スクラップは-28.2%の23007tとこちらは二桁減少した。輸入は政治不安による内需の減少や欧州懸念による輸出の減少をうけ、電気銅が-45.2%の2721t、スクラップは+11.5%の7860tとなった。

銅需給に関しては、先月も、自動車関連の本格的な需要が継続、販売面でも自動車が前年比+40.9%と大幅回復。また住宅着工数は+9.3%(前年比)と大幅増加今後も期待。ただその他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては7カ月連続悪化の-10.2%(前年比)。絶対的な発生量の不足も内需の停滞や輸出の悪化で電気銅需要は低位安定との予測。

銅価格に関しては、上記EU会合での欧州金融安定メカニズム(ESM)から民間への直接投資合意を受けて一応の安定は見受けられるものの、独メルケル首相がいまだECB債発行に懸念を示してる事や今後、発表される中国の経済指標悪化懸念から上値は限られ7900ドルあたり。下値も前月に続き最悪の場合でも米、中の金融緩和期待が下支えしLME価格で7000-7900ドル。

銅建値に関しては60-67万円程度と予測している。

西山實子(にしやまじつこ)氏(東京都伸銅品商業組合員(第6西支部)・株式会社西山商店代表取締役社長・西山浩氏のご母堂)7月4日に肺炎のため逝去。享年91歳。通夜は7月7日(土)午後6時から、告別式は7月8日(日)午前10時~11時に桐ヶ谷斎場・鶴の間(東京都品川区)にてそれぞれ行われた。喪主は長男の浩氏。

	3月	4月	5月
生産台数	98万4567台	799474台	78万1349台
前月比	+3.4%	-18.8%	-2.3%
昨年対比	+243.7%	+173.8%	+59.9%
	4月	5月	6月
販売台数	30万8977台	23万6366台	31万7152台
前月比	-58%	+13.1%	+34.2%
昨年対比	+92%	+66.3%	+40.9%
	3月	4月	5月
新設住宅着工数	6万6597戸	7万3647戸	6万9638戸
季節調整 前月比	-1.6%	+5.7%	+0.8%
昨年対比	+9%	+10.3%	+9.3%
	3月	4月	5月
輸入			
電気銅	3810t	4969t	2721t
前月比	+200%	+30.4%	-45.2%
スクラップ	7151t	7043t	7860t
前月比	+13.1%	-1.4%	+11.5%

輸出	3月	4月	6月
電気銅	5万7724t	4万6807t	4万3866t
前月比	+22.7%	-18.9%	-6.3%
スクラップ	3万6946t	3万2009t	2万3007t
前月比	+35.8%	-11%	-28.2%

